

原稿募集について

雑誌名	東日本歯学雑誌
巻	20
号	2
ページ	211
発行年	2001-12-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1145/00008665/

会費納入のお願い

正会員，準会員，賛助会員で平成13年度会費の未納の方は，事務整理上至急ご納入下さるようお願いいたします。

払込みは北海道銀行当別支店（普通No.128259）宛，または同封郵便振替用紙をご利用下さい。（会計委員）

原稿募集について

次号（第21巻，第1号）の発行は平成14年6月30日です。

会員各位の投稿原稿募集の締切りは平成14年3月31日必着と致します。期日厳守の上，ご投稿をお願い上げます。本誌投稿規定ご参照の上“提出原稿の書き方”を編集委員会にご請求下さい。（編集委員会）

編集後記

お約束の通り，本号から巻頭に会員の総説を掲載致します。21世紀のトップバッターとして口腔生理学講座の姜英男教授に「大脳皮質錐体細胞の発火様式とその働き」という題で執筆して頂きました。姜教授は認知や記憶と深く関わる高頻度バースト発火を世界ではじめて脳のスライスで記録され，これが新しいタイプのCa依存性カチオン電流に基づくことを明らかにされました。先生のご研究は平成14年1月スタートの個体差健康科学研究所の重点研究プロジェクトに選定されており，今後の発展が大変楽しみです。本号にはこの他，4編の原著論文と教育論文1編が収録されております。また，この度理事会の議を経て投稿規程の一部が改訂されましたのでお知らせ致します。掲載論文の著作権に関する項目を「7. 著作権の帰属」として新たに付け加えたもので，論文のネットワーク掲載や図表等の複製使用に関する事務処理を迅速化するための措置です。この改訂にともない，旧投稿規程の「7. その他」は「投稿の手引き」へ移動致しました。さて，次号は口腔解剖学講座の武田教授に巻頭総説を執筆して頂く予定です。

旅客機と炭疽菌を使ったテロの影響で世界中が不安と不景気の中に落ち込んだ2001年でしたが，年末になって何となく明るい兆しを感じるのは気のせいでしょうか。（田隈 記）